

# Space Designer検定試験 2017年度 試験問題

配布された資料と3次元データ・テクスチャ画像などをもとにリビング・ダイニング部分の3次元モデルを作成し、下記に指定されたパース画像の作成、および提案書の作成を行うこと。

## ★提出ファイルについて

- ◎パース画像（基礎課題、応用課題共通事項）
  - ファイル形式：JPEGファイル(ファイルサイズ 各5Mバイト以下)
  - アスペクト(縦横)比：自由(作画の意図による)
  - 画像サイズ：見栄えを考慮し、受験者が判断すること。
  - カラー：24ビットカラー(1,677万色)／RGB
- ◎提案書（応用課題）
  - ファイル形式：PDFファイル
  - 用紙サイズ：A3(横長)1枚

※採点評価はすべて紙出力ではなくモニター画像での目視による

## ●基礎課題 パース画像の作成 画像データ4点

配布資料の指示に従ってリビング・ダイニング部分のモデリングを行い、照明器具、ダイニングセットなど指定の家具を配置し、テクスチャや光源を指示に従って設定し、平面図「①～④」の矢印で示すパース画像を作成しなさい。  
視点(高さ)、仰俯角、画角＝レンズ焦点距離の設定などは、指示された空間を最適に表現出来るよう受験者が判断すること。  
場所は東京近郊とし、時刻は秋分の日の前11時前後で晴天の日を想定すること。上階のバルコニーの位置などを考慮に入れ、太陽光の入射角を推測すること。また、光源の状態がわかるよう、照明器具配置図に指示された全ての照明器具を配置し、点灯された状態を表現すること。

### ①リビング窓際からベースキャビネットのある壁面を見たパース画像(パース画像番号 1)

概ね矢印①に示す方向から見たベースキャビネットのある壁面を表現すること。  
リビングのベースキャビネット、ウォールキャビネット、床及び天井の段差、床の間が表現されていること。

### ②リビング窓側から畳コーナーを見たパース画像(パース画像番号 2)

概ね矢印②に示す方向から見たリビング、畳コーナー、ダイニングを表現すること。  
廊下との出入り口、畳コーナー、床の間、吊押入、床及び天井の段差、ダイニングが表現されていること。

### ③リビング入口から窓側を見たパース画像(パース画像番号 3)

概ね矢印③に示す方向から見たリビングの窓側を表現すること。  
リビングの窓、ベースキャビネット(一部)、窓際のアームチェアなどの家具が表現されていること。

### ④リビングからダイニングを見たパース画像(パース画像番号 4)

概ね矢印④に示す方向から見たダイニングを表現すること。  
リビングのタイル貼りの壁、ダイニングの引違窓、キッチンとの出入り口、ペンダント・ブラケット照明などが表現されていること。

## ■ 基礎課題 提出物

- ファイル名：1～4のパース画像番号(半角)
- 上記パース画像4点を、1つのフォルダ(フォルダ名：A 半角とする)に入れ、ZIP形式で保存し、「マイページ」にアップロードすること。

※この課題においては、ウインドートリートメント、ラグ、インテリア小物、その他添景(TV・スピーカーなど)、受験者の判断によると指示のあるソファなどは配置しないものとする。

## ●応用課題 完成パース画像1点（基礎課題 ②のアングルで作成した完成パース） 提案書作成(空間コンセプトをまとめたもの)

基礎課題で作成した3次元モデルをもとに、ソファなどの家具、ウインドートリートメント、ラグ、インテリア小物とともに、人物、ペット、グリーン、アート等の添景を、CADソフトまたは画像処理ソフトにより付加し、インテリアイメージとしてパース画像を完成させる。完成させたパース画像とともに、下記に示す「ライフスタイル・インテリア提案の背景」「インテリアコーディネーターからの要望事項」から、デザインコンセプトやイメージカラーなどをまとめ、提案書を作成すること。

### I. パース画像の作成

矢印②で示したアングルの完成パース画像を必ず作成し、ファイル名：11として提出すること。

### II. 提案書の作成

I で作成したパース画像を中心に、イメージ画像、コンセプト、メッセージ、イメージカラーなどをバランスよくレイアウトして提案書を作成すること。それ以外に受験者でインテリアを表現するのにふさわしいと判断したアングルで2点以上のパース画像を作成し、合わせて3～5点のパース画像を提案書に入れること。受験者の判断で、時刻などを想定して光の演出をしてもよい。  
基礎課題で指示された以外のアングルでパース画像を作成してレイアウトしてもよい。  
デザインコンセプトに合ったタイトルデザイン、フォントおよびフォントサイズを使用すること。

#### ■ ライフスタイル・インテリア提案の背景

お住まいになる家族構成      ご主人:55歳  商社勤務      奥様 :53歳  フランス語の非常勤講師

ご主人は商社にお勤めで、海外勤務を長く経験されています。  
フランス駐在時に、日本文化に興味をお持ちだった奥様と知り合い、ご結婚されました。  
お子様が独立してフランスに在住することになった為、今回マンションのリノベーションを選択されました。  
現在、奥様は時間的に余裕ができ、和装教室に通うなど日本文化に親しまれています。  
ご主人の趣味は映画鑑賞で、週末に自宅でゆっくり映画鑑賞ができるスペースを希望されています。  
また、二人で日本各地に旅行することもお好きで、奥様は各地の民芸品や和雑貨などをコレクションされています。  
眺望の良い高層マンションの高層階で、海外のご親戚やご友人が滞在されることも多く、日本の伝統文化を肌で感じられるインテリアにしたいとのご希望です。

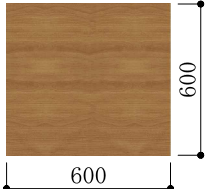




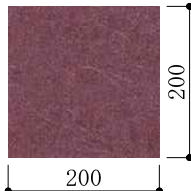
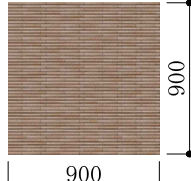

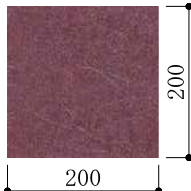
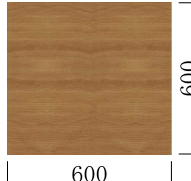



#### ■ インテリアコーディネーターからの要望事項

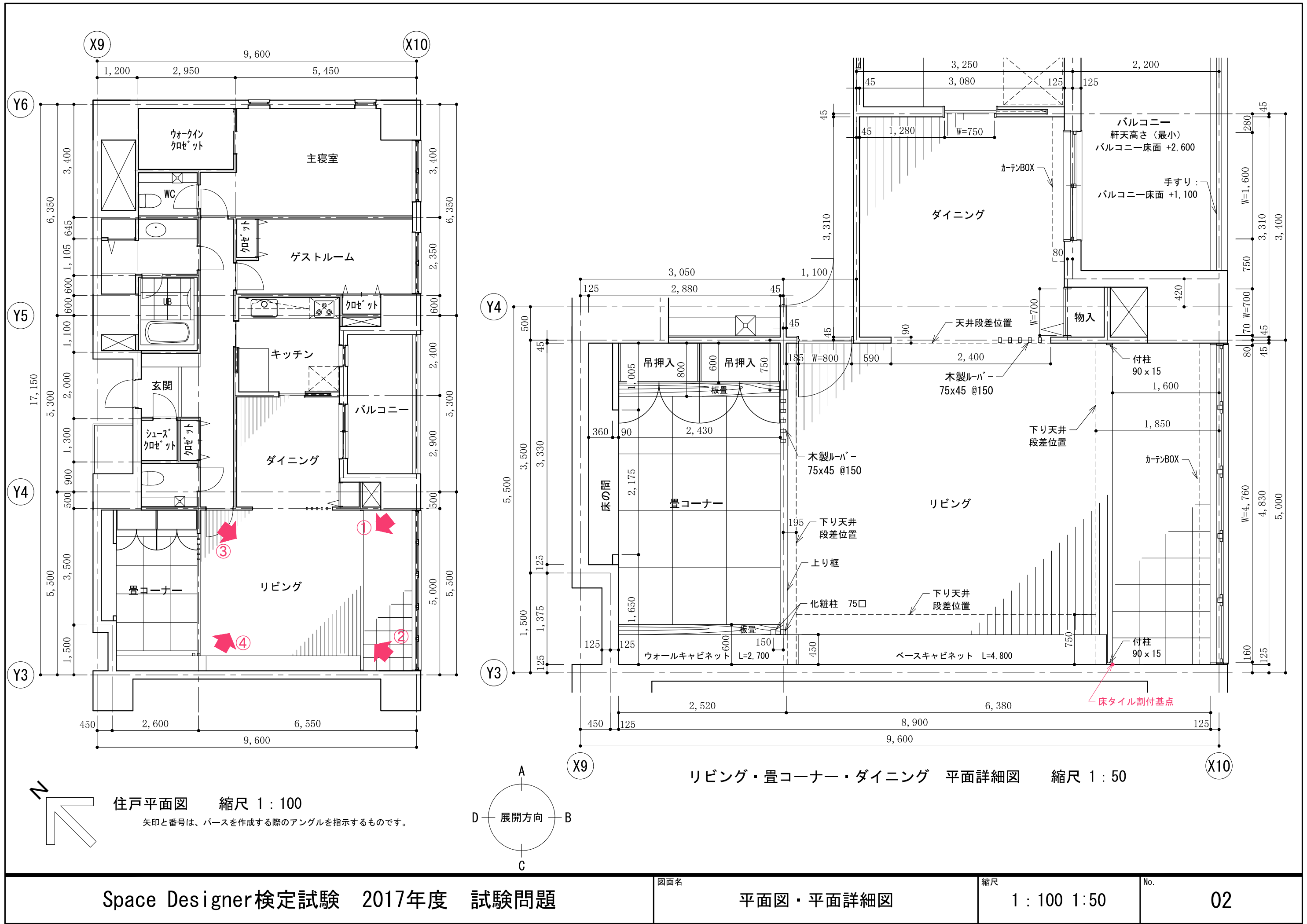
- ・リビングの床材には土間をイメージするタイルと温かみのある板材を、壁は和紙調のクロスを使用して和のイメージを演出したい。
- ・広いリビングはホームシアターを楽しめると共に、すっきりと直線的なデザインで和モダンにまとめたい。
- ・リビングの窓際は、ゆったりと夜景を楽しめる縁側のようなスペースとしたい。
- ・日本文化の象徴でもある床の間、畳の心地よい空間で、和のおもてなしの心を伝えたい。
- ・日本の伝統的な色でもある紅がかった紫をアクセントカラーにし、落ち着いた中に上品な華やかさをそえたい。

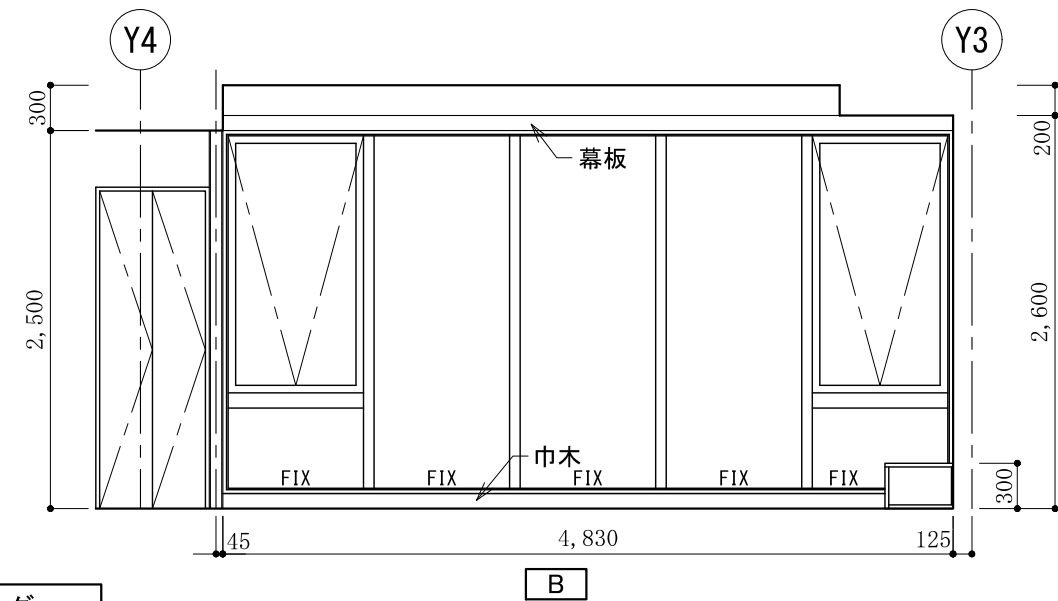
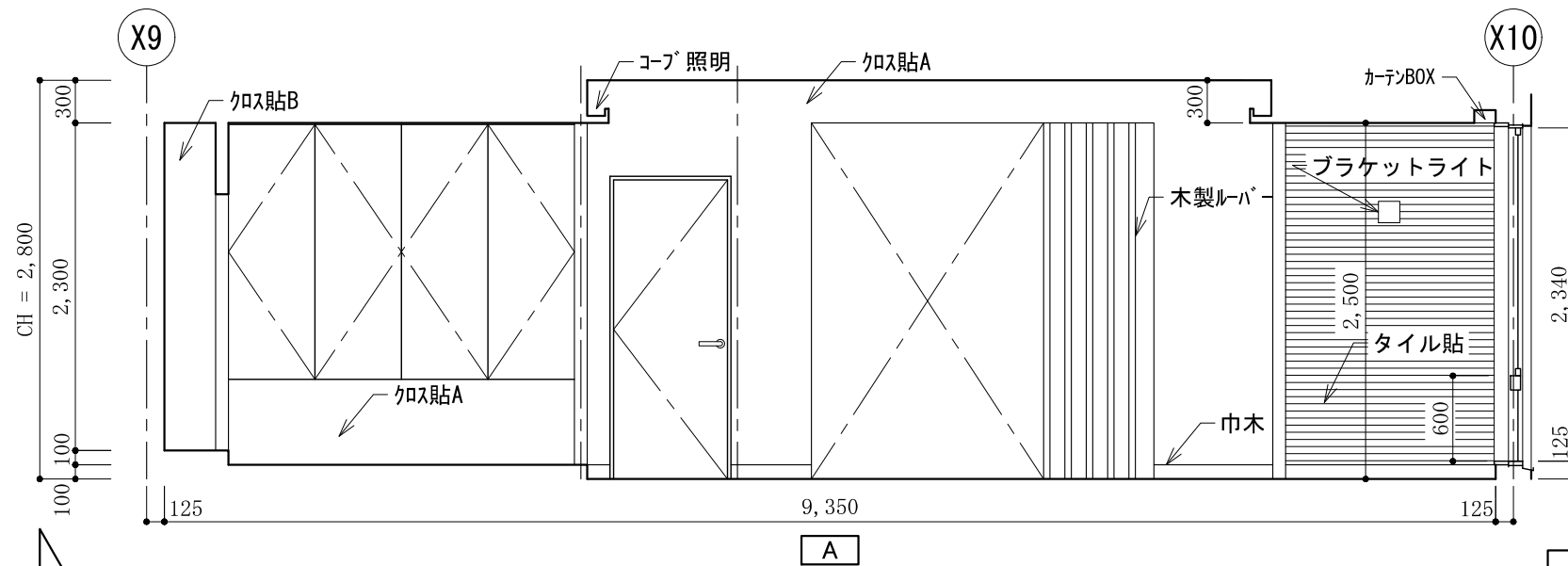
## ■ 応用課題 提出物

- パース画像      ファイル名：11(半角)
- 提案書          ファイル名：12(半角)(ファイルサイズ 30Mバイト以下)

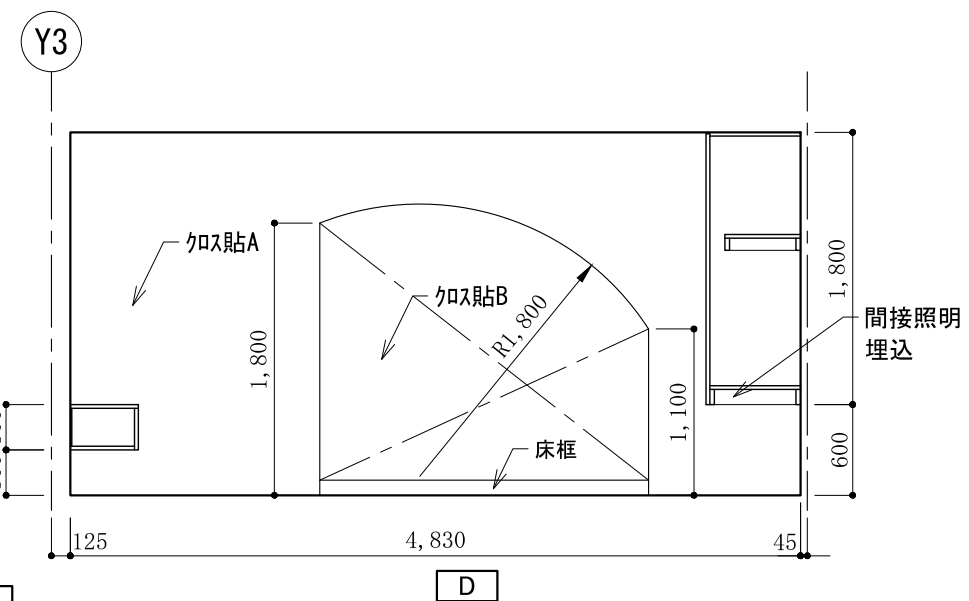
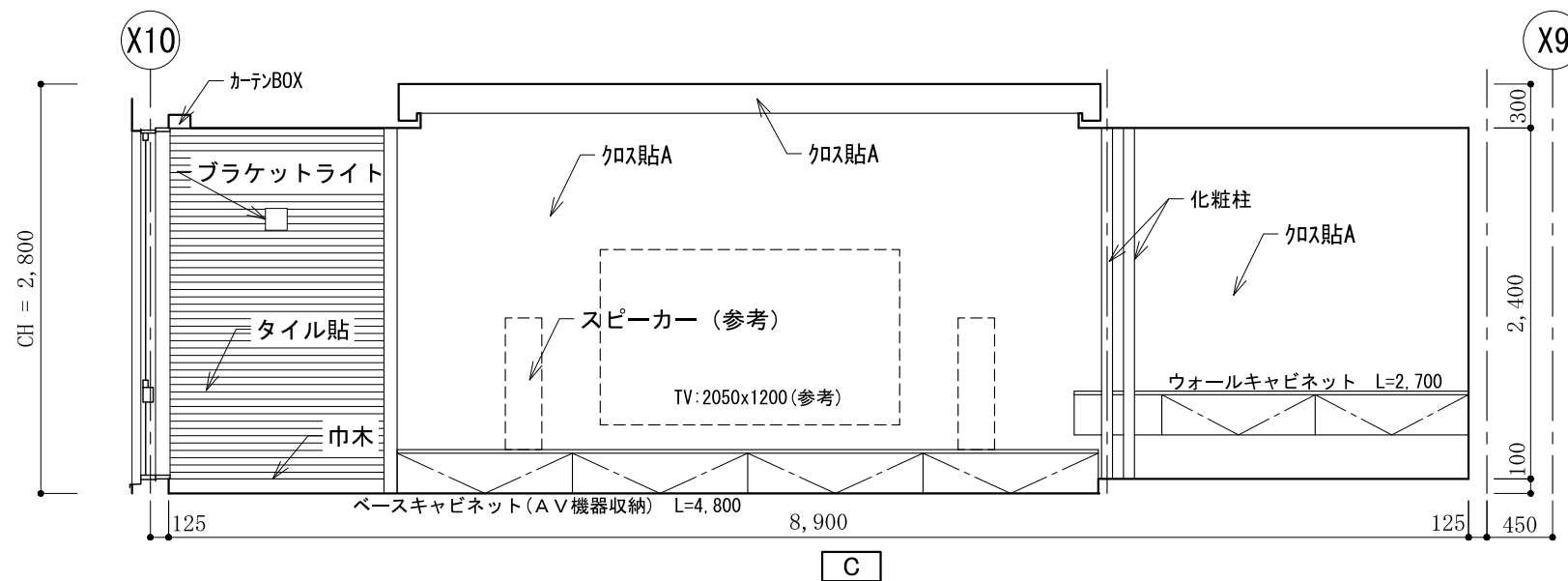
パース画像と提案書を、1つのフォルダ(フォルダ名：B 半角とする)に入れ、ZIP形式で保存し、「マイページ」にアップロードすること。

内部仕上表																
室 名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考										
リビング 畳コーナー	400角タイル貼り フローリング t=15 琉球畳敷	堅木 H=100 畳寄せ	クロス貼 石膏ボード t=12.5下地 一部 タイル貼	クロス貼 石膏ボード t=9.5下地 一部 化粧合板 目透し張り	2,400～2,800	カーテンボックス：木製  ベースキャビネット（AV機器収納ボックス）・ウォールキャビネット 天板・側板・扉：木製 画像ファイル名:wood_A.jpg 扉割付：展開図に従うこと 扉デザインは受験者の判断による  仕上：半光沢程度  (画像提供：安心計画株式会社)  床框、床板：黒漆塗り テクスチャ画像なし 受験者の判断による  板置：テクスチャ画像なし 受験者の判断による 吊押入：テクスチャ画像なし 受験者の判断による										
	タイル 画像ファイル名:tile_A.jpg 仕上:半光沢程度  (画像提供：株式会社LIXIL)  タイルは400×400として、 平面図「タイル割付基点」に位置合わせのこと。 テクスチャへの割り当てサイズを判断すること。  フローリング 画像ファイル名:flo.jpg 仕上：半光沢程度  (画像提供：安心計画株式会社)  フローリングの板幅を120として、 テクスチャへの割り当てサイズを判断すること。  琉球畳：画像ファイル名:tatami.jpg 配布画像を使用し、平面図と同じ割付になるよう、 テクスチャへの割り当てサイズを判断すること。  (画像提供：メガソフト株式会社) (※1)		クロスA 画像ファイル名:wp_A.jpg 和紙調 光沢なし  (画像提供：メガソフト株式会社)  クロスB 画像ファイル名:wp_B.jpg 和紙調 光沢なし  (画像提供：メガソフト株式会社)  タイル 画像ファイル名:tile_B.jpg 光沢なし  (画像提供：株式会社LIXIL)	クロスA 画像ファイル名:wp_A.jpg 和紙調 光沢なし  (画像提供：メガソフト株式会社)  クロスB 画像ファイル名:wp_B.jpg 和紙調 光沢なし  (画像提供：メガソフト株式会社)  化粧合板 画像ファイル名:wood_A.jpg 仕上：半光沢程度  (画像提供：安心計画株式会社)												
ダイニング	フローリング t=15 リビング フローリングに同じ  (画像提供：安心計画株式会社)	堅木 H=100 受験者の判断による。	クロス貼 石膏ボード t=12.5下地 リビング クロスAに同じ  (画像提供：メガソフト株式会社)	クロス貼 石膏ボード t=9.5下地 リビング クロスAに同じ  (画像提供：メガソフト株式会社)	2,500	カーテンボックス：クロス巻込み										
<table><tr><th colspan="2">その他 注意事項</th></tr><tr><td>外部建具</td><td>外部建具の色・素材については受験者の判断によるものとする。 ガラスの表現は、受験者の判断によるものとし、外部（バルコニー等）の表現はしなくてもよい。</td></tr><tr><td>内部建具</td><td>片開き戸および引き戸、吊押入の扉・取手のデザイン、および、色・素材については受験者の判断によるものとする。</td></tr><tr><td>造作材</td><td>建具枠材、上り框、付柱、幕板、ルーバーなどの造作材については、受験者の判断によるものとする。 天井廻縁はないものとする。</td></tr><tr><td>バルコニー</td><td>バルコニーおよび外壁などは採点対象外となるため、モデリングを行わなくてもよい。 ただし、太陽光の入射角を表現するために上階バルコニーのモデリングが必要な場合は、受験者の判断によって作成すること。</td></tr></table>				その他 注意事項		外部建具	外部建具の色・素材については受験者の判断によるものとする。 ガラスの表現は、受験者の判断によるものとし、外部（バルコニー等）の表現はしなくてもよい。	内部建具	片開き戸および引き戸、吊押入の扉・取手のデザイン、および、色・素材については受験者の判断によるものとする。	造作材	建具枠材、上り框、付柱、幕板、ルーバーなどの造作材については、受験者の判断によるものとする。 天井廻縁はないものとする。	バルコニー	バルコニーおよび外壁などは採点対象外となるため、モデリングを行わなくてもよい。 ただし、太陽光の入射角を表現するために上階バルコニーのモデリングが必要な場合は、受験者の判断によって作成すること。	※1 本テクスチャデータは、建築パース.com（http://kenchiku-pers.com）より許諾を得て、サイズを改変して提供しています。		
その他 注意事項																
外部建具	外部建具の色・素材については受験者の判断によるものとする。 ガラスの表現は、受験者の判断によるものとし、外部（バルコニー等）の表現はしなくてもよい。															
内部建具	片開き戸および引き戸、吊押入の扉・取手のデザイン、および、色・素材については受験者の判断によるものとする。															
造作材	建具枠材、上り框、付柱、幕板、ルーバーなどの造作材については、受験者の判断によるものとする。 天井廻縁はないものとする。															
バルコニー	バルコニーおよび外壁などは採点対象外となるため、モデリングを行わなくてもよい。 ただし、太陽光の入射角を表現するために上階バルコニーのモデリングが必要な場合は、受験者の判断によって作成すること。															
Space Designer検定試験 2017年度 試験問題				図面名	仕上表	縮尺										
						No.										
						01										

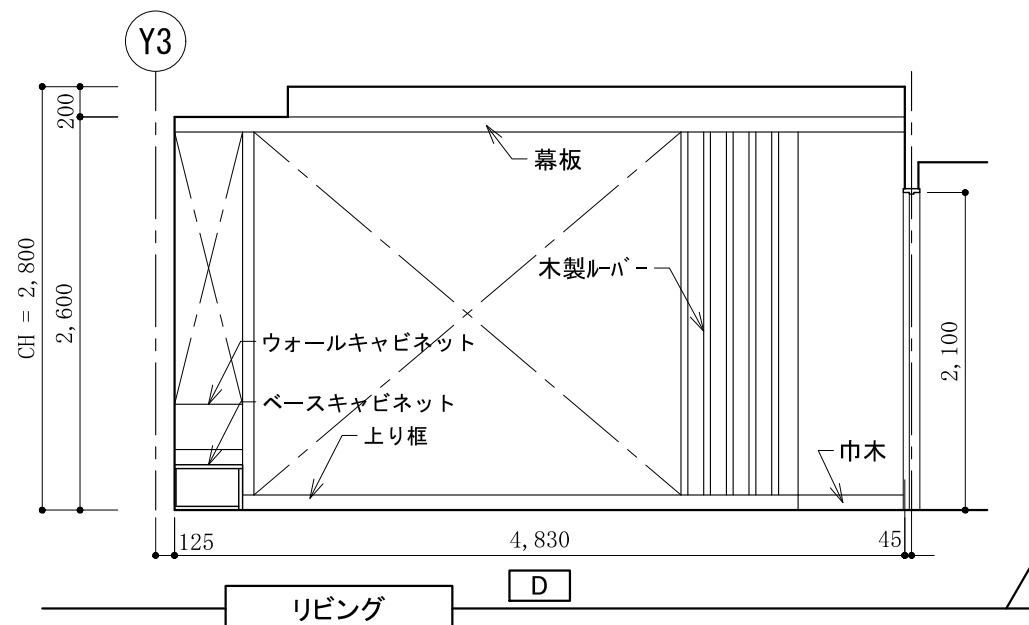




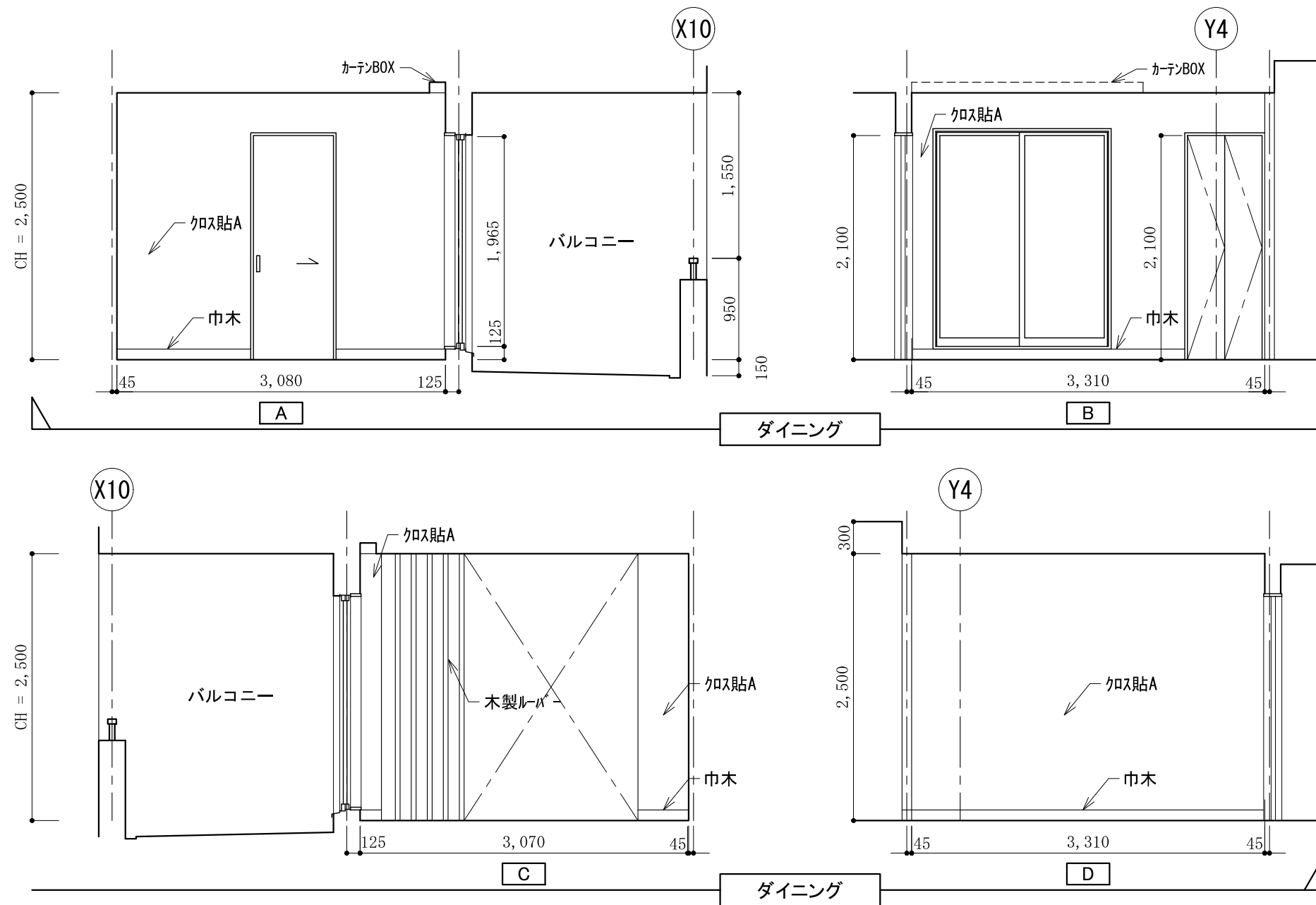
リビング

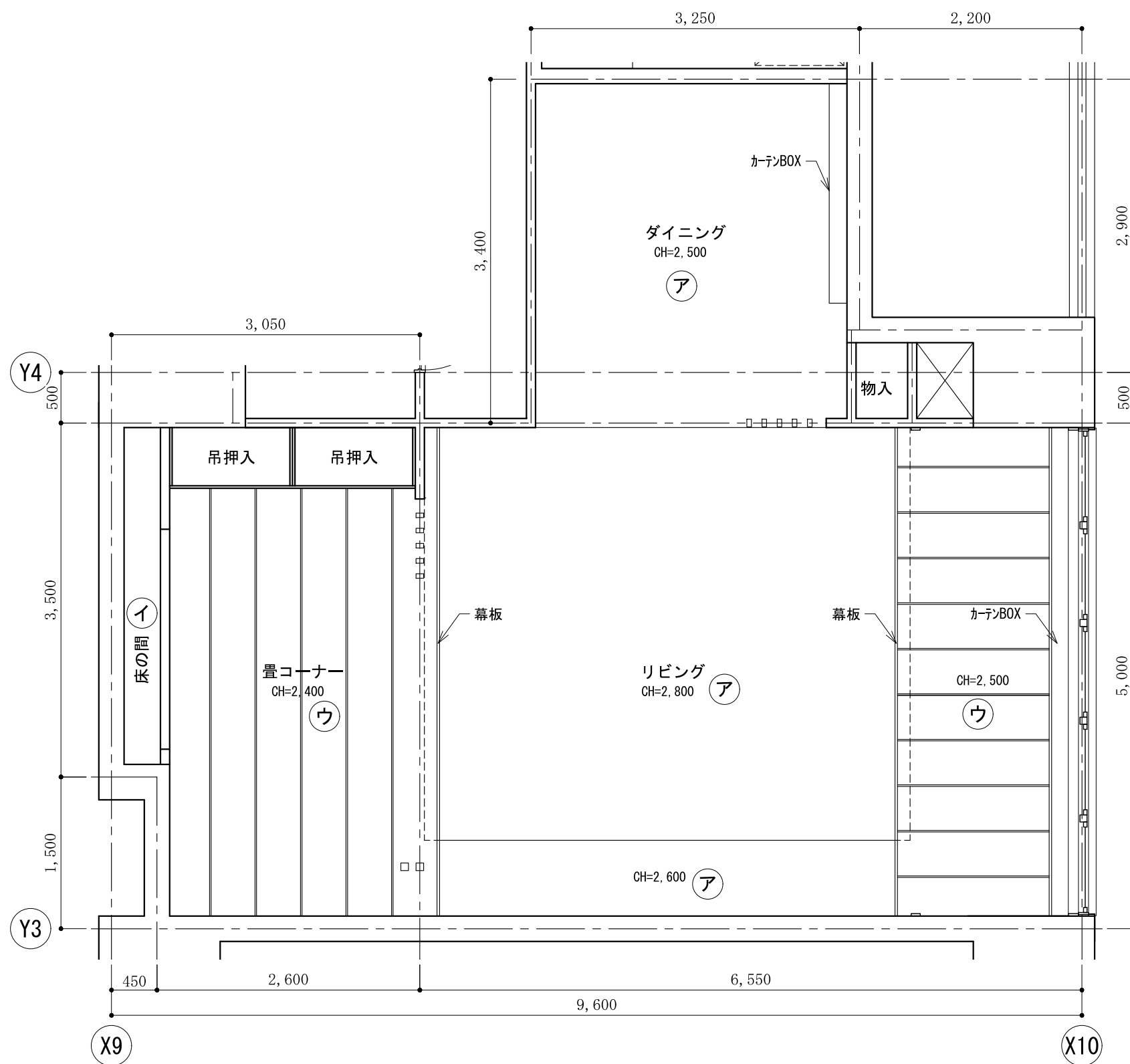


リビング



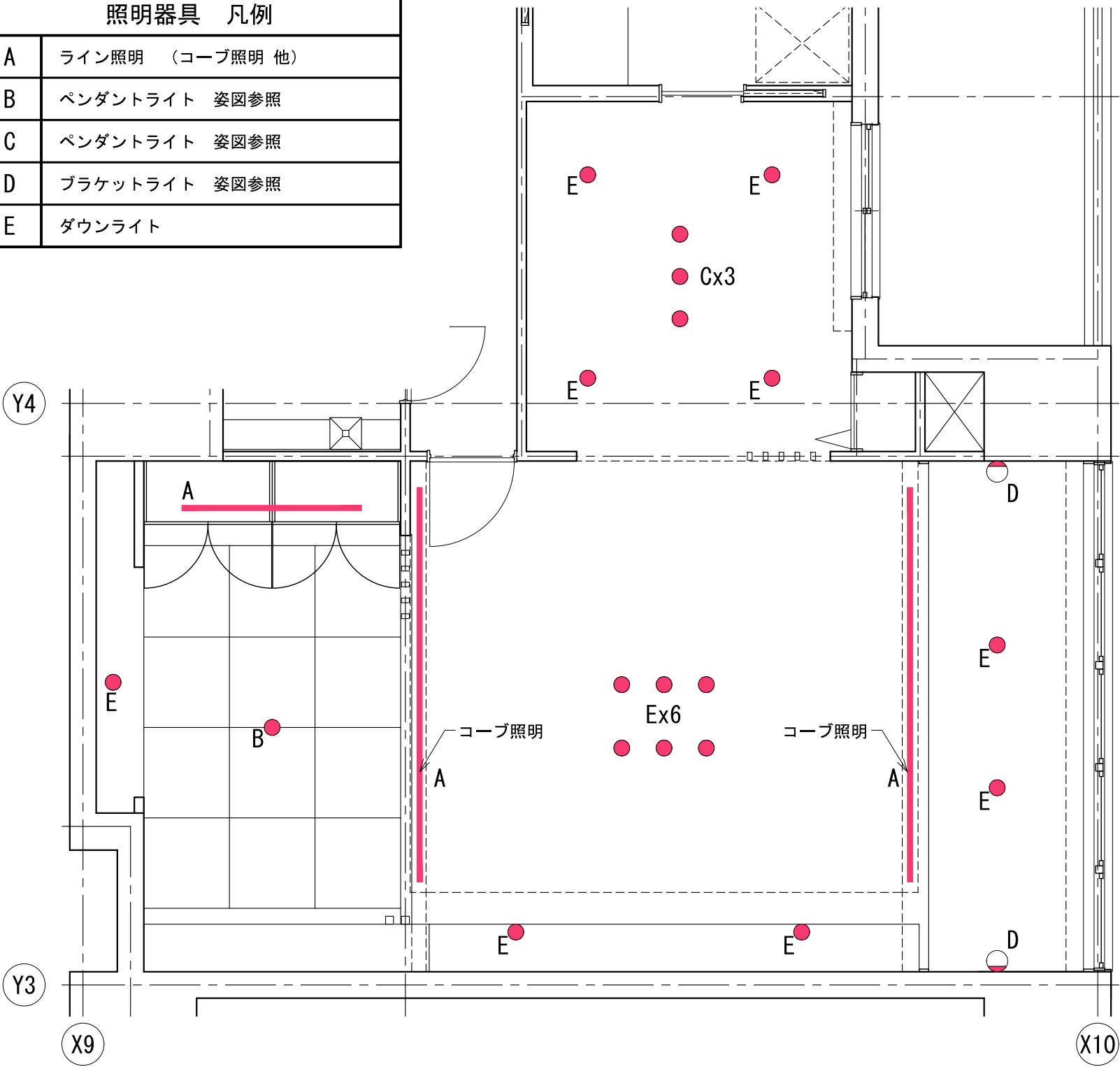
リビング





天井仕上 凡例	
ア	クロス貼A 石膏ボード t=9.5下地
イ	クロス貼B 石膏ボード t=9.5下地
ウ	化粧合板 目透し張り @450

照明器具 凡例	
A	ライン照明 (コープ照明 他)
B	ペンダントライト 姿図参照
C	ペンダントライト 姿図参照
D	ブラケットライト 姿図参照
E	ダウンライト



注：照明器具の詳細な設置位置寸法は指定しないので、概ね図面と同じ位置になるよう配置すること。

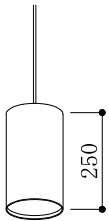
リビング・畳コーナー・ダイニング部分 照明器具配置図 縮尺 1：50



画像提供：パナソニック株式会社

B 畳コーナー ペンダントライト 姿図

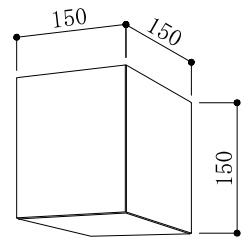
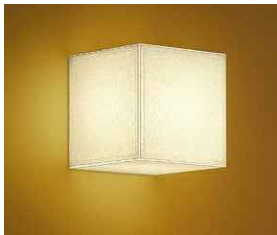
本体：木調プラスチック枠、アクリル強化和紙張り テクスチャ用 提供画像ファイルなし  
サイズ：φ550 H=220 下端 畳面+1,900に配置すること。  
配布された3DSまたはDXFデータを読み込むこと。  
姿図に近い雰囲気となるようテクスチャを付加し、光源を設定すること。  
ソフトによりデータの読み込みができない場合は、姿図を参考にモデリングを行うか、使用しているソフトに登録されているシンボルを使用して、同じイメージになるよう作成すること。



画像提供：大光電機株式会社

C ペンダントライト 姿図

セード：布（コーティング加工） テクスチャ用 提供画像ファイルなし  
サイズ：φ120 H250 下端 FL+1,500に配置すること。



画像提供：大光電機株式会社

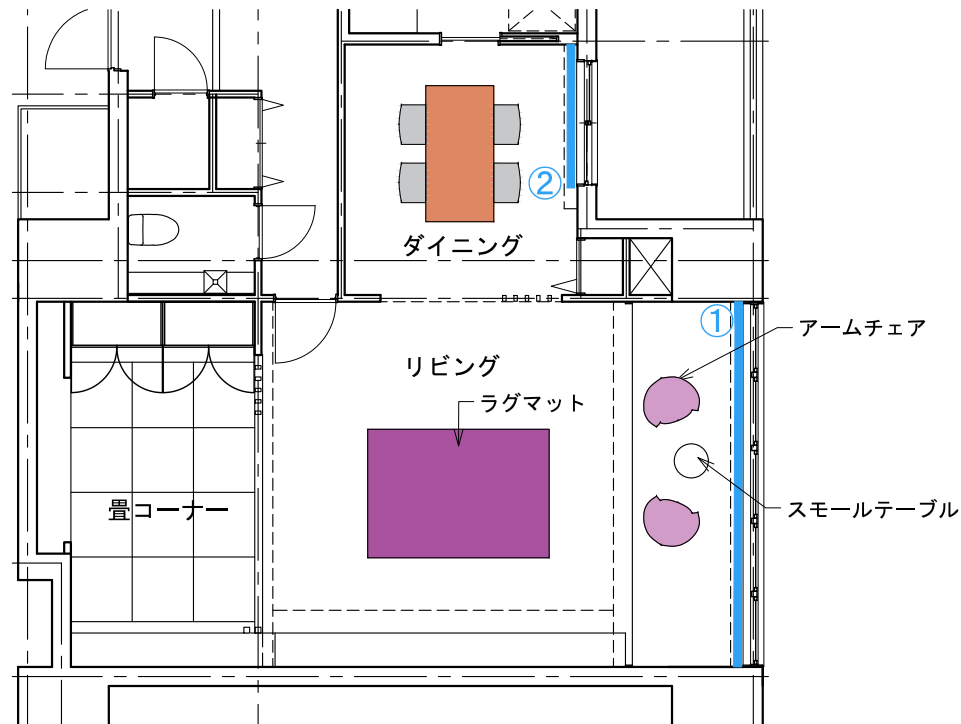
D ブラケットライト 姿図

本体：和紙入りアクリル

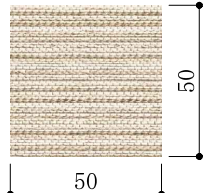
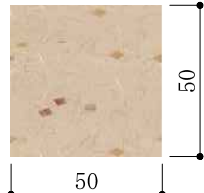
C D 共通事項

姿図と寸法図を参考にモデリングを行うか、使用しているソフトに登録されているシンボルを使用し、姿図に近い雰囲気となるようテクスチャを付加し、光源を設定すること。





インテリア エLEMENT プロット図 縮尺 1 : 100

ウインドトリートメント	
①	②
ヴァーチャルブラインド スラット巾 : 100 スクリーン : ポリエステル100% 画像ファイル名 : fa_A. jpg	ブリーツスクリーン シングル ブリーツ巾 : 45 スクリーン : ポリエステル100% 画像ファイル名 : ple. jpg
	
(画像提供 : 安心計画株式会社)	(画像提供 : メガソフト株式会社)

指定のない部分の仕様については任意とする。

<div>ダイニングテーブル</div> <div>ダイニングテーブル（注1 注2） 天板・脚：木製 W=1,800 D=900 H=720</div> <div><div>画像ファイル名：wood_A.jpg</div><div><div><div>600</div><div>600</div></div></div><div>(画像提供：安心計画株式会社)</div></div> <div></div>	<div>スモールテーブル</div> <div>スモールテーブル（注1 注2） 天板・脚：木製 φ500 H=500</div> <div><div>画像ファイル名：wood_A.jpg</div><div><div><div>600</div><div>600</div></div></div><div>(画像提供：安心計画株式会社)</div></div> <div></div>	<div>ラグマット</div> <div>ラグマット 材質：ポリエステル100% 2,400×1,700</div> <div><div>画像ファイル名：rag.jpg</div><div><div><div>500</div><div>500</div></div></div><div>(画像提供：メガソフト株式会社)</div></div> <div></div>
<div>ダイニングチェア</div> <div>ダイニングチェア（注1 注2） フレーム：木製 画像ファイル：wood_A.jpg 座面：ファブリック 画像ファイル名：fa_C.jpg W=520 D=605 H=825 SH=425 AH=620</div> <div><div>画像ファイル名：wood_A.jpg</div><div><div><div>600</div><div>600</div></div></div><div>画像ファイル名：fa_C.jpg</div><div><div><div>60</div><div>100</div></div></div><div>(画像提供：安心計画株式会社)</div></div> <div></div>	<div>アームチェア</div> <div>アームチェア（注1 注2） 脚：木製 画像ファイル名：wood_A.jpg 座面：ファブリック 画像ファイル名：fa_B.jpg W=640 D=600 H=800 SH=400</div> <div><div>画像ファイル名：wood_A.jpg</div><div><div><div>600</div><div>600</div></div></div><div>画像ファイル名：fa_B.jpg</div><div><div><div>60</div><div>100</div></div></div><div>(画像提供：安心計画株式会社)</div></div> <div></div>	<div>リビング ソファ コーヒーテーブル等</div> <div>受験者が、ソフトに登録されているシンボルなどを編集、またはモデリングして、インテリアコーディネーターからの要望事項や、この部屋のイメージに合うものを配置すること。 形状、サイズ、個数、色、材質その他も受験者の判断による。 この家具の配置については、応用課題提出時に行うこと。</div> <div>注1：素材指定のない部分に関しては、受験者の判断による。</div> <div>注2：配布データを読み込むこと。 読み込めない場合は、ソフトに登録されているシンボルなどを編集、またはモデリングして、同じイメージになるよう作成すること。</div>